

学校/企業研修キット クラウド版 パッケージ版/バルク版/SSO の相違点

同一の製品で運用していますので、タイピング練習機能、管理者機能は同じです。

製品お届け時の形態、学習者のアカウント作成の手順が異なります。

裏面にアカウントとライセンスのイメージ図を掲載いたしましたのでご参照ください。

	パッケージ版（販売店様向け）	バルク版（通常製品）	SSO（シングルサインオン）
特長	学習者に購入していただくことが可能です。	管理者の方がまとめて学習者を登録することができます。	WebClass やポータルサイトからログインできます。
製品媒体	1.インストラクターズマニュアル 2.学習者用パッケージ（人数分） パッケージ内容 ・学習者登録シート（登録コード） ・TQ 指ポジションカード	1.インストラクターズマニュアル	1.インストラクターズマニュアル
ログイン ID	ピリオドで区切られた「団体名. メールアドレスの前半部分」という形式（例：AUN16.yamada）または、学内/企業内で使用しているメールアドレスです。 どちらでもログイン可能です。 ※団体名は学校/企業ごとに決められた数文字の英数字です。 ※パッケージ版の場合は、学習者は学内/企業内で使用しているメールアドレスを持っている必要があります。	ピリオドで区切られた「団体名.学習者 ID」という形式（例：AUN16.E2016001）または、メールアドレスです。 どちらでもログイン可能です。 ※団体名は学校/企業ごとに決められた数文字の英数字です。 ※学習者 ID は重複することがない学籍番号などをお勧めします。	WebClass やポータルサイトのユーザー ID をログイン ID として利用します。
登録方法	学習者(生徒/社員)が自分でアカウントを登録します。 ※登録時に学習者が所属する管理者(先生又は授業名)を選択します。 ※パスワードは学習者が決めます。	管理者(先生)が学習者のアカウントを登録します。 ※初期パスワードは管理者が決めますが、学習者はログイン後に変更することができます。	WebClass やポータルサイトからユーザー ID と氏名を読み込み、初回ログイン時に自動で登録します。
事前にお知らせいただく情報	・希望する団体名 ・管理者ごとに、管理者の名称、ID、学習者数、メールアドレス（管理者の ID は任意に決めていただけます。） ・責任者のメールアドレス	・希望する団体名 ・学習者数 ・責任者のメールアドレス	・希望する団体名 ・管理者ごとに、管理者の名称、ID、学習者数、メールアドレス（管理者の ID は任意に決めていただけます。） ・責任者のメールアドレス
学習者アカウント登録手順詳細	1.団体コードを全学習者へ通知していただきます。 2.学習者はパッケージに入っている学習者登録シートを参照して第1登録サイトにアクセスします。 3.第1登録サイトで団体コード、登録コード、メールアドレスなどの情報を入力します。 4.学習者へ第2登録サイトの URL が記載されたメールが届きます。 5.学習者は第2登録サイトでパスワード等を入力します。コース(管理者の名称)を選択します。 6.学習者にメールで TypeQuick の URL、アカウント情報が届きます。 7.学習者は通知されたアカウントで TypeQuick にログインして練習を始めます。	1.責任者が管理者のアカウントを登録します。管理者ごとに学習者人数分のアカウントを付与します。 2.管理者(先生)が学習者(生徒)のアカウントを登録します。 ※CSV 形式のファイルで一括登録が可能です。 ※学習者のアカウント作成時に各学習者へメールでログイン ID とパスワードを通知することができます。 3.学習者は通知されたアカウントで TypeQuick にログインして練習を始めます。	1.WebClass やポータルサイト上に ID や key を含んだフォーム（ログインページ）を作成していただきます。 2.学習者は WebClass やポータルサイトのログインページから練習を始めます。 ※TypeQuick のログインページでは ID とパスワードの入力は必要ありません。

※責任者は学校/企業全体の TypeQuick 管理者です。学校/企業に一つ提供されるアカウントです。

※管理者は実質的に授業/部課の管理者(先生/担当者)です。複数登録できますので、授業/部課の数分登録できます。

アカウントとライセンス イメージ図

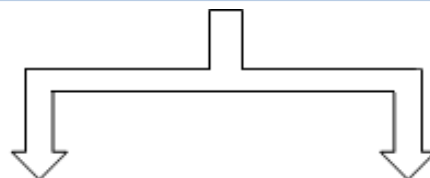
パッケージ版の場合はこれらのアカウント登録、ライセンス付与を行う必要はありません。

責任者アカウント



例) A 大学
ログイン ID AUN
ライセンス数 50

- ・管理者のアカウントを登録^{注1}
- ・管理者にライセンスを割当てる^{注1}



管理者アカウント

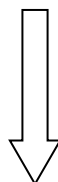


例) 経済学部管理者
ログイン ID AUN. ECO
ライセンス数 30



例) 法学部管理者
ログイン ID AUN. LAW
ライセンス数 20

- ・成績の閲覧
- ・学習者のアカウントを登録^{注1}
- ・各学習者に1ライセンス付与^{注1}



学習者アカウント

- ・自分でアカウントを登録^{注2}
(パッケージ版のみ)

例) 経済学部学生

ログイン ID	ライセンス数
AUN. E001	1
AUN. E002	1
AUN. E003	1
AUN. E004	1
⋮	
AUN. E030	1
30 人	

例) 法学部学生

ログイン ID	ライセンス数
AUN. L001	1
AUN. L002	1
AUN. L003	1
AUN. L004	1
⋮	
AUN. L020	1
20 人	

注1：パッケージ版の場合はこれらの作業をする必要はありません。

注2：バルク版の場合は必要ありません。